4J14 國友康輝　4章

401-406



407

1. すべての線が同じ
2. 記号がイタリックになってない
3. 曲線がプロットを貫通している

408

1. 文字が大きすぎる
2. スケール線が長すぎる
3. スケール文字、量記号と単位、図記号とキャプションが離れすぎている

409

1. 図番号が間違っている
2. 縦軸の原点スケール0が欠落している。

410-415,434



416



417



418



419



420



421



422



423



424

白抜きプロット点と細い折れ線で表示する。

425

縦軸が売らないように上にのせる

426

1. 連図間距離を1.5mmに縮める
2. 連図識別記号を上下対象の位置に記入する

427

(b)の横軸スケールを上に移動させる

428

1. スケール線を枠外に作図する
2. 原点を移動させる

429



430

凡例を示すのではなく、グラフのの近くに記号を書く

431

1. は現象量の変化を表しているのに対し、(2)はパラメーターを変えているだけである

432



433



434

2ページ目参照

435,436

内容を理解した

437



438



439



440



441



442



443



444



445



446

1. 横スケール0の位置
2. 横軸スケール数字と座標軸の距離
3. 横軸量記号とスケール数字の距離
4. 縦軸スケール数次４の位置
5. 量記号との位置の不一致
6. 記号aとbが上下非対称
7. グラフのプロットと線の太さが同じ